

令和4年度 第1回 政策決定会議 会議録(1)(2)

-
- ◆開催日時：令和4年5月27日(金) 10:00~10:30
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
 - ◆説明者：西川総合政策部長、貝口企画課長、大山分権担当長、勝元主任
-

◆審議事項

- (1) 令和5年度国家予算に対する要望について
- (2) 令和5年度大阪府予算に対する要望について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案を一部修正のうえ承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉4点指摘したい。1点目は、新型コロナウイルス感染症対策について。国ではバブル期の平成2年を超える過去最高の税収を毎年記録しており、大阪府でも税収が大幅に拡大している。また、令和3年度に引き続き、地方交付税も上がってくる。この原資は、市民が納めた所得税や消費税であるため、市民サービスの向上のために日ごろから議論し、早めに使途を検討し、十分に活用できるようにしておくこと。2点目は、広域連携軸の整備におけるモビリティポートについて。スマートシティは、大阪府も目玉に掲げ、推し進めている事業。本市も大阪府スマートシティパートナーズフォーラムに参加し、実証実験のためモビリティポートの整備を進めている。ハードだけでなくソフト面も含めて進めているという議論をしていくこと。これが泉州山手線の整備着手につながっていく。市制施行100周年や公民連携事業とも連携しているため、目玉事業として要望にも取り組んでほしい。3点目は、府営蜻蛉池公園について。山側のまちづくりの中心となり、山から海までの広域連携軸づくりに貢献するため、防災だけでなく、“空飛ぶクルマ”の実証実験を行うことなど公園そのものの利用方法について十分議論し、提案できるように。4点目は臨海部の整備について。木材港地区貯木場については、大阪府も税収が大きく伸び財源がある状況で、また「大阪広域ベイエリアまちづくり」も推進しているため、強く働きかけてほしい。スポーツーム岸和田跡地や阪南2区整備も同様、具体的な計画の共有を。

〈戎井副市長〉大阪府を通じて国にも要望するというので、市内の関係団体がある場合は、それらの団体とも連携し進めてほしい。交付金については、アンテナを高くし、自分の業務の中でアイデアを常に考え、新型コロナウイルス感染症の取組の必要性・妥当性などの説明ができるよう、全職員に意識の浸透を。

〈教育長〉大阪府からの回答についてはそれで終わりではなくフォローしていくこと。

〈市 長〉大阪府から回答はもらっているのか。

〈分権担当長〉はい。

〈市 長〉財政的にもチャンスなので、一步ずつでも前に進められるよう、事前に府議団の政調会等に説明会や意見交換会の場を設けてもらうなど、いつもと違った方法で要望してもよいのではないか。その際には誰にでもわかる説明を心がけること。また、交付金が入ったときに実施したい事業については、リスト化をしておき、いつでも実施できるようにしておくこと。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和4年5月 17 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和5年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和5年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	貝口企画課長 大山担当長 勝元担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和4年度 第1回会議
付議事項	令和5年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

<p><現状> 国の厳しい財政状況により、国から本市への補助金の減少が懸念される。</p> <p><課題> 国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。 なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。</p>

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
大阪府議会議員団を通じて、国に対し要望する。								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有	無						

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	目標値				
					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。

令和4年5月 17 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和5年度大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和5年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	貝口企画課長 大山担当長 勝元担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和4年度 第1回会議
付議事項	令和5年度大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大阪府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大阪府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	II-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

<p><現状> 大阪府の厳しい財政状況により、大阪府から本市への補助金の減少が懸念される他、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。</p> <p><課題> 大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。</p>
--

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。								
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	目標値				
					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。